

その他の解答一覧

治療への影響について、当てはまるものを選択肢から選んでください。

【既に治療に影響が出ている】

---患者本人---

- ・検査の延期をされこのまま延期が続けば安定しているかをみるための検査の意味があるのかわからない。また、身体上発熱が起りやすくコロナとの判断がつきにくく急変時に救急車や急患の受け入れが不安。
- ・今まで週1回の外来リハビリをしていたが、リハビリ室は入院患者と共用なため、院内感染対策の一環として外来リハビリの頻度を減らすことになり、3週に1度と変化した。
- ・メトレート of 服薬を中止しています。
- ・入院治療が延期された。
- ・入院治療が出来ないため。
- ・コロナが優先で、我慢しないとイケない。
- ・本来であれば定期的に病院で治療しなければならないのが理想。しかし、院内感染を防ぐ為に治療は不定期となり治療回数も減っている。
- ・4月21日に入院27日に手術の予定が5月7日、入院8日、手術に変更させて今後も変更される可能性も有るから。
- ・受診できず薬が尽きた。
- ・毎月经過観察で通院しているが4月の通院がなくなった
- ・病院から体調が安定していたら来なくて良いと連絡がある。行こうとしてもなかなか受け入れてくれない気を遣う
- ・週2回のリハビリ通院が中止。あちこちの動きが硬くなり痛みが増強
- ・体調が悪化したため、入院して追加治療を受けたかったが、コロナの影響で入院できないため、本来副作用が強いため避けたかった、ステロイドパルスを選択せざるを得なかった。
- ・2週間の受診を4週間にされた。
- ・気軽に通院出来ない。治療によって免疫も落ちるので治療すること自体も悩む。病院スタッフも減っている為、治療も困難
- ・デイケアに自粛のため通えなくなりました。定期的にやっていたリハビリ、鍼治療に行けず、身体の痙性が緩和されず、関節可動域制限や筋力低下、バランス感覚の低下など、心配です。
- ・感染症なので、洗えない両杖や車椅子からの接触感染にも注意しています。薬はもらっていますが、待ち時間は、リハビリのため歩行訓練をして過ごしています。
- ・半年前に比べ、調子が上向いたように感じるから。
- ・wearing off
- ・いつも使っている薬が入荷しなくなり、別のジェネリックに替わってしまった
- ・リウマチも合併していて 生物学的製剤が必要ですが 免疫が下がるので見合わせているため 脱力や痛みがコントロールできない

---患者家族---

- ・疾患から誘発される白内障の手術が実施できない
- ・2ヶ月に1度、外来にて採血とエコー検査をしているが、病院から連絡があり電話での診察のみになってしまった。お薬も電話診察後に郵送。7月に決まっていた肝生検の手術も出来ないかもしれないらしく、非常に不安。

- ・月1回の受診が2ヶ月に1回に延びている
- ・受診をするのを躊躇する。物品を貰って自宅で胃瘻交換をした。経口でも栄養が摂れているので、注入を中止している。
- ・リハビリに行けず、麻痺した部分の拘縮などが進んでいる。経過の確認をしたいが緊急性がないので受診できない。

【今は影響が出ていないが、今後影響が出る恐れがある】

---患者本人---

- ・通院先の大学病院ですでに複数のスタッフの感染が発表されており、このまま安定したペースで外来受診出来ない可能性がある。医師が異動する時期でもあり、院内の混乱が感じ取れた。また、4月21日の受診時にオンライン受診について尋ねたが環境が整っていないと言われた。当面難しいと思う。
- ・GW明けが次回の通院予定なのですが、今のところ緊急事態宣言明けと重なるため人出が増えそうで悩んでいます。また、以前より主治医と6月には入院加療をと話しているのですが、予定通りにできるのか心配です。現状を維持するには欠かせないのですが、一般病棟が圧迫されたら先延ばしにされてしまわないかという不安があります。
- ・無気肺症状がある為、肺炎のリスクが高い
- ・指定病院なので、コロナ感染症患者が運ばれています
- ・病院が外来停止したらどうなるかわからない。
- ・熱が出る疾患なので、熱が出たら病院に行くことになるけど、今の状況で病院に行くと発熱外来に行かされるので正直しんどい
- ・外来閉鎖した場合影響出る
- ・通常、月1回の定期外来で診て頂いているが、必ず血液検査等の検査が必要な膠原病患者は感染リスクが高まる可能性があっても、コロナウイルス拡大に伴い、最近導入傾向にある電話やテレビ電話診察は難しい。そして、膠原病は急変しやすい病気で、今までは体調が悪くなると病院へ行き直ぐに診察を受けられていたが、今後もし熱が出たり体調が悪くなってもコロナウイルス感染対策の為、直ぐには主治医の診察を受けられ無くなった…と、一昨日の外来診察でお話があったため、今後は治療に影響が出ると思われる。
- ・かかっている病院が、新型コロナ患者の受け入れ病院となっているため今後、病床数の削減などあり得る。
- ・病院で支給されているアルコール綿が品薄と言われた
- ・免疫抑制剤を使っているのも、もしウイルスに感染した時に重症化するかもしれない。
- ・肺炎になったら急速悪化になります
- ・外出制限によるストレスの病気悪化
- ・症状再発時にコロナと区別が付きづらい。自己メンテのリハビリは自粛している。
- ・通院先の病院で感染者が出た場合、受診が難しくなる懸念がある。
- ・寛解期が維持できており、必要な薬物治療、心理療法、精神療法、運動療法等の組み合わせにより、必要な医療を受けられているから。
- ・献血をしてくれる方が減ると、治療が出来ない。
- ・治療を受けている病院が遠方のため、場合によっては移動制限があるかもしれない
- ・現状は入院先のベッドは確保できる状況にあり、病院自体も指定感染症医療機関ではないため、内部の温度感低めである。ただし、今後医療系リソースが逼迫・枯渇する状況となるとこの限りではなくなる事が予想される。
- ・ガーゼ、ペーパータオル、ハンドソープなど衛生商品が店から少なくなっている。在庫はあるが、切れた時になかったらヤバイ。
- ・リハビリが受けられなくなった
- ・毎月一回の定期受診と、全身への皮膚ケアに欠かせない創傷被覆材支給のため外来へ行く必要がある疾患ですが、拠点医療機関が遠距離の場合、または外来に出向かないとならない現状は感染のリスクが高すぎる。
- ・病院への通院も不安を感じるから
- ・体調に異変が出た時に、これまでの様な迅速な入院対応をしてもらえるのが心配。

- ・院内感染が起きた時、普段の通院や緊急時の病院の対応が難しくなるように思います
- ・病室が少なく、入院時期をずらされる。または病院に治療に行く度に感染しないか不安になる。現在、入院中ですが感染対策がされていて、病院への出入りが家族も面会禁止で不自由な事が多い。身のまわりのことが出来ない
- ・先が分からないから。
- ・私の疾患は多発性硬化症なので再発が起きた場合早急にステロイドパルス治療をする必要があるが、その再発が新型コロナウイルスによって引き起こされた場合は最善の治療法が何なのか、どの段階で何を選べば後遺症を最小限に食い止めかつ生命を維持できるのか現段階ではっきり分かっておらず、恐らく主治医にも分からないことが問題だ。
- ・治療するにあたって使われる点滴や病床が足りなくなってしまうと思うから。
- ・ストレスがたまってきたら予測不能、病院対応等
- ・免疫抑制剤を使用しているため
- ・6月から始める予定だった治験が延期になった
- ・免疫抑制剤を服用している為、通院時にコロナへ感染するリスクがあり、そこでの対応(遠隔診療や処方のみ)が確立されていない事から、今後なにかしらの影響が出てくると考えています。
- ・現状維持で限界だから
- ・病院まで公共交通機関を利用して1時間半もかかる。公共交通機関で病院に移動中に感染のリスクがあるから。
- ・感染拡大状況によっては、通院が難しくなる恐れがあるため
- ・点滴治療で通院をしているので、もし通っている医療機関で感染による閉鎖が行われてしまうと、どうなるのか不安。
- ・現在は、とくに影響ないが、今後感染者が多くなると通院時の感染の危険性があがるのではないだろうか。
- ・入場制限ついたので

---患者家族---

- ・発熱によるてんかん発作が重積しやすく、平時から救急搬送の可能性がある日常を送っています。重積時に救急搬送してもらえるのか、また、病院に受け入れてもらえるのか、という不安をドラベ 症候群の患児の親は抱えています。
- ・主治医の病院は感染症指定病院ではないが、これから先どうなるかわからないから
- ・通院先が受入施設のため
- ・輸血不足、院内感染による病院閉鎖など
- ・院内感染が心配で通院できなくなる、あるいは重症化して入院が必要になってもベッドに空きがなく入院できなくなる。
- ・もしコロナにかかったときに、投薬種類の関係で標準治療がスムーズに受けられないかもしれない。

【今後も影響は予想されない】

---患者本人---

- ・今後の症状進行の可能性が軽微であるとの医師の判断を頂いているため。
- ・体調は悪いが、来月の入院予約も通常通り取ることができた。入院が中止になると厳しいが、今のところ問題にはなっていない。"
- ・自分の場合、投薬治療のみなので、治療への影響という点に関しては今後も影響はないものと予想しています。
飲み薬などの治療のため
- ・今は定期的に通院だけで内服薬などはないから。
- ・生物学的製剤仕様により免疫力は低下していますが、日本でも海外でも新型コロナウイルス感染症に罹患しやすいという報告を聞いていないので。
- ・治療している自己注射が生産、流通されていれば特に問題ないため。

---患者家族---

- ・治療がなく、対症療法的な服薬以外は何もしていない。